

千早駅における JR 線の西鉄線・地下鉄線乗入れ(提案)

1. まえがき

首都圏でも、各鉄道会社は相互乗り入れを進め利用者の便を図っています。福岡市地下鉄では現在 JR との相互乗入れで利便性を発揮していますが、将来、貝塚駅での地下鉄・西鉄との相互乗入れの機会に、JR 鹿児島本線から西鉄線経由による地下鉄乗入れを提案します。

以下、到達時間等利便性の比較のために、福岡町を起点として検討します。

2. 福岡から福岡市天神までの交通機関の現状

福岡から福岡市天神までの到達時間等(現在) (表 - 1)

(表-1) に福岡から福岡天神への現在の交通機関 3 ルートを示します。

J R 鹿児島本線と地下鉄西鉄宮地嶽線と地下鉄西鉄バス(都市高速一部使用)

利用交通機関	発駅	乗換駅	到達時分	片道運賃(円)	本数 (6~22時)	記事
			交通機関内訳	交通機関内訳		
JRと地下鉄	JR 福岡駅	博多駅	46 ^{*-1}	650 ^{*-2}	JR 112 地下鉄 139	バス利用可能
			30+ +6	450+200		
西鉄と地下鉄	西鉄 福岡駅	貝塚駅	56 ^{*-1}	620	西鉄 75 地下鉄 117	
			34+ +12	370+250		
西鉄バス	JR 福岡駅前	(直通)	60	670	54	都市高速利用

*-1 乗換時分は 10 分と想定(表では) *-2 100 円バス利用なら 550 円

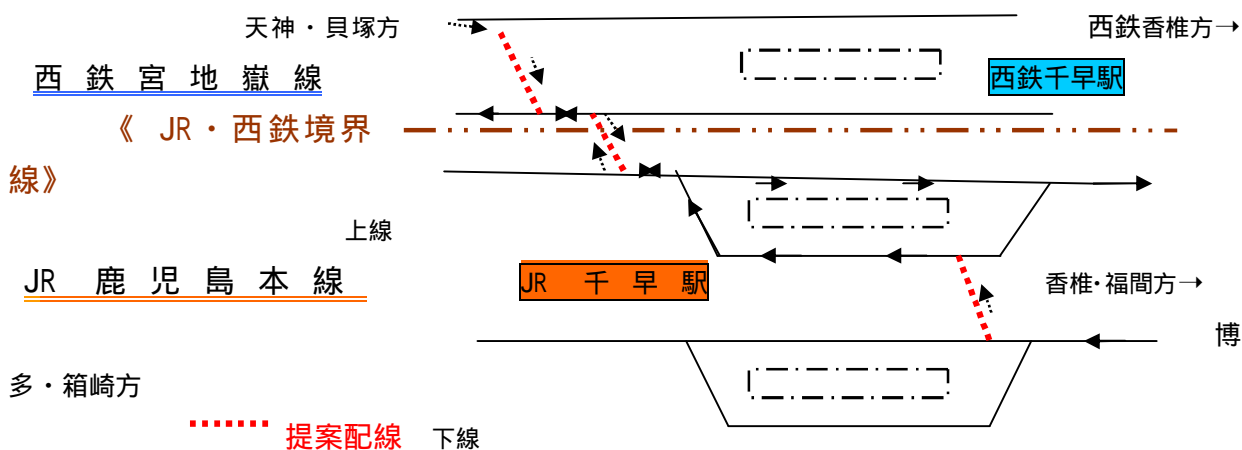
3. 千早駅での JR から西鉄・地下鉄線乗入れ方法

昭和 40 年頃まで、和臼で国鉄香椎線の駅と西鉄宮地嶽線の駅が同位置にあり、レールのゲージも同じであったため、両線が同一線路で平面交差していました。

現在香椎副都心地区の高架 JR 千早駅の隣に、西鉄宮地嶽線の西鉄千早駅が新設中で、さらに将来、貝塚駅では西鉄と福岡市地下鉄が相互乗入します。その機会に千早駅で JR 鹿児島本線列車が西鉄線に乗入れが出来ると、貝塚駅から地下鉄 2 号線で天神方面に直通できます。

乗入方法は、千早駅では JR と西鉄両線が同一高さで平行し、隣接しているため、例えば下図のように配線(赤点線)を行います。一部逆線運転は生じますが、詳細不明で安全側線設置、交直流電化の切替位置等の解決すべき問題はあるものの、物理的には接続可能と考えます。

千早駅における JR 線の乗入れ配線案 (線路配線図)



逆線運転が無い鹿児島本線下線から分岐し、下上線乗越え案は、費用的に実現は困難でしょう。

4. 千早駅での当乗入れによるメリット

この案の場合、一部逆線運転のため直通乗入れ列車本数は制約され、1時間に1~2本としても、地下鉄2号線経由で中洲川端の博多座、天神街、大濠の市立美術館、百地地区のダイエードーム、市立博物館まで、乗換無しで11分短縮出来ます。中洲・天神からの深夜帰りも安心です。さらに、天神で西鉄大牟田線に乗換えも出来、西へ直通するため、九大(桑原に移転)や観光地唐津が身近になります。(表2)*¹千早乗入れ列車待機時分は3分想定(表では)

直通による福岡駅から福岡市天神までの到達時間等 (表-2)

今迄、宗像・古賀地域から箱崎の九大に通う学生も多いと思います。

九大が移転した西区桑原地区に毎朝の通学は困難かもしれませんが、福

時期	利用交通機関	乗換駅	到達時分	片道運賃(円)	本数 (6~22時)	記事
			交通機関内訳	交通機関内訳		
計画	JRと西鉄	千早駅	42	想定620	JR~112 西鉄75	西鉄本数は現行
			17+ +15			
提案	JR	なし (直通)	35* ¹	想定620	直通列車 16~32	1時間に 1~2本
			17+ +15			

間から直通が実現すれば九大最寄の波多江駅に、直通なら1時間余で到着可能です。波多江駅から九大までの所要時間や、授業開始時間によっては通学も可能と考えます。

直通列車は、新宮駅の福工大をはじめ、九産大(国家試験等会場)、九大医学部、西南大学、九大(移転後)まで大学ベルト地帯を結ぶ「大学ライナー」になります。また、沿線には、病院、官公庁も連なっています。一方、乗換抵抗が少なくなり、宗像・古賀地区からも唐津地区へ、逆に唐津地区から宗像地区(宗像大社外)への「玄海ライナー」として手軽な旅行も増えましょう。

JR鹿児島本線は交流電化、千早以西の西鉄、地下鉄は直流電化ですが、JR九州の電車の開門トンネル用には交直両用電車が使われており、対応は出来るでしょう。

また、このルート新設は、列車密度が高い博多駅の緩和にも役立つと考えます。

5. あとがき

以上の提案は、鉄道会社だけでは実現は難しいと思われ、利用者の意見と行政の判断が不可欠です。

直通運転は、高齢者や身障者にも優しい交通機関となります。大学アクセスは単に学生通学、教師通勤に役立つだけでなく、産学官の交流にも役立つでしょう。したがって、今後の高齢化社会その他来るべき社会を見通した社会的・政治的判断が必要と考えます。

福岡を起点に論じましたが、当然古賀市、宗像市、遠賀郡の住民にとっても便利になり、JR、地下鉄、西鉄区間の利用が増えると考えられ、鉄道直通の相乗効果で夫々の鉄道会社にもメリットがあると考えます。